

ひでん しょうゆ けん ごうしょう たかた 秘伝の醤油を殿様に献じた 豪商 高田家

- ▶ 1728（享保13）年、土手町の鞆屋（高田家）3代目徳兵衛が、柳井津で醤油醸造を始めました。
- ▶ 鞆屋（高田家）4代目吉兵衛は晩年、苦心の末、独特の手法で醤油をつくりました。
- ▶ 5代目伝兵衛が、1781（天明元）年に岩国領主吉川公へ秘伝の醤油を献上したところ、「甘露、甘露（おいしい、おいしい）」と賞賛されたといひます。
- ▶ それ以来、伝兵衛はこの醤油を「甘露醤油」と命名されたと伝えられています。
- ▶ 甘露醤油の改良と販路の拡張に努力し、「茶道」にも精進したと言われています。
- ▶ 6代目弥太郎は、「洗心亭歌峯」ともいわれ、後の「洗心亭」の名の由来と言われています。
- ▶ 8代目松太郎の時、中島棕隠が「柳井津高田氏洗心亭」の詩を作りました。

きしだ としあき
[岸田 稔明]

はん ささ かつやく おおしょうや あきもと 藩を支え国際的に活躍した 大庄屋 秋元家

- ▶ 俵物の輸出業（長崎～清国（中国）等）を推進し経営・経済の発展に寄与すると共に清国を始め国際情報をいち早く入手し、諸外国の状況を捉え、藩の繁栄に貢献しました。

俵物とは、煎海鼠（海鼠を干したもの）・干鮑・鱧鱈などの海産物を俵に詰めて輸送したために起こった呼称で、これらを俵物三品ともいう。その他に昆布や和布などの諸色といわれる海産物を含めた総称である。

- ▶ 遠崎村（浦）の秋元（鍵屋）茂次右衛門政徳（晩香）は、俵物問屋として、周防国（萩領、徳山領等）を中心に安芸、伊予、備後、備中、備前、豊後など七か国集荷地域として活躍していました。
- ▶ 集荷業務を開拓し、資本力・集荷量・対象地域の広さなど、いずれも卓越しており、毎年多額の馳走銀を上納していました。
- ▶ 維新の志士たちを厚遇し、1866（慶応2）年の四境戦争（大島口の戦い）では、高杉晋作が宿泊しています。〔※ 秋元家には、隠し部屋を備えていました。〕
- ▶ 藩も最大級の御仕成（勤功）を与えると共に大庄屋格を許されており、下請問屋の功績に報いていました。
- ▶ 遠崎村（本藩領）は、もとより藩への貢献は大きく、多大な功績を遺しています。
- ▶ 竹馬の友であった『月性』への経済支援や情報提供に心血を注いでいます！

にしはら みつはる
[西原 光治]

明治維新の礎を築いた僧『月性』

月性は「明治維新の礎を築いた」維新の源流（ルーツ）と言っても過言ではありません。月性は僧侶でありましたが、素晴らしい詩人であり偉大なる教育者でした。国事に奔走した月性は広く名士と交遊し、尊王論、海防論、倒幕論を唱えた思想面での先覚者でありました。この様な思想を長州へ一番最初に取り込んだのが月性です。

吉田松陰とその門下生は、月性の思想を学び多大な影響を受けて、長州藩の原動力となって明治維新の改革を成し遂げました。吉田松陰は、月性を正に師として仰ぎその人格や能力、志の高さに強く感銘し、「留魂録」や「書簡」に多く書き遺しております。

月性の考えが明治維新のエネルギー源となって、新しい時代の源流を起こしました。

- 1817年（文化14年）
母：尾上の実家 周防国 現在の柳井市遠崎の妙円寺に生まれる
- 1829年（文政12年）
月性13歳 西本願寺で得度を受ける。（同年、吉田松陰生まれる）
- 1831年（天保2年）
月性15歳 恒遠醒窓の蔵春園に入塾し、漢学を学ぶ（塾頭となる）
- 1842年（天保13年）
月性26歳 恒遠醒窓の代講を行う
- 1843年（天保14年）
「男児志を立てて郷関を出づ」の立志の詩を遺し、京阪に勉学のため旅立つ。篠崎小竹の梅花社に入り、文章の研究をする（塾頭となる）
- 1848年（嘉永元年）
月性32歳 柳井市遠崎に、時習館（清狂草堂）を開塾
- 1852年（嘉永5年）
月性36歳 妙円寺の第10世住職となる。秋良敦之助に伴われ、萩の村田清風を訪問する
- 1853年（嘉永6年）
月性37歳 「内海杞憂」の執筆始める（ペリー来航 吉田松陰密航事件を起こす）
- 1854年（安政元年）
藩政に対する改革意見を述べた「封事草稿」を起稿する。この頃、久坂玄瑞と交流、松下村塾に学ぶよう進める
- 1855年（安政2年）
吉田松陰との交流が本格化する
- 1856年（安政3年）
月性40歳 本願寺の命で「護法意見封事」を提出
- 1858年（安政5年）
月性42歳 5月10日 萩に法談に行く途中発病し、妙円寺にて亡くなる



【月性像・剣舞の図】

大阪に向け勉学の旅に出る際、その高い志を妙円寺の壁に書き遺した詩です。この詩（立志の詩）は、世界に轟いています。

男児志を立てて
郷関を出づ
学もし成るなくんば
また還らず
骨を埋むるなんぞ期せん
墳墓の地
人間到る処 青山あり

「将に東遊せんとして壁に題す」



男児立志の詩碑

清狂草堂（時習館）
（指定文化財）



月性展示館
有形文化財収蔵
（約600点）



表門（山門）
（指定文化財）